

光和精鉱 環境経営方針

理 念

光和精鉱株式会社は、産業廃棄物処理において**脱炭素化における「資源循環メーカー」**への変革を進め、当社独自の**焼却・資源化技術(Only One 技術)**を核として廃棄物を適正かつ安全に処理し、持続可能な社会の実現と企業価値向上を推進する。

基本方針

1. 法令を遵守し、環境リスクの最小化を図ることにより、ステークホルダーの更なる信頼向上を推進する。
2. 燃え殻の埋め立ては行わず、徹底リサイクルにより**資源循環型社会の構築**を主導する。
3. 製造工程効率化・省エネ推進により、**地球温暖化防止に貢献**する。
4. 環境方針・環境目標・環境活動計画を定期的に見直し、環境マネジメントシステムの改善・強化を推進することにより、環境経営の継続的な改善を行う。

行動指針

社員一人ひとりが環境リスクの最前線にいることを自覚し、主体的に行動する。

1. **法令遵守**：環境関連法規、各種協定を遵守する事により、環境保全、汚染の予防、及び産業廃棄物の適正処理を実行する。
2. **廃棄物の有効利用**：産業廃棄物を当社処理システムにて処理・適正利用を行う事により、資源循環型社会の発展に貢献する。
3. **化学物質等の適正管理**：産業廃棄物の保管、処理の適正管理と共に購入化学物質の使用、保管についても適正に管理する。
4. **CO₂ 排出量削減**：集荷した産業廃棄物のエネルギーを有効利用するとともに、処理プロセスの高効率化や設備投資も含めた消費エネルギー削減施策の推進による CO₂ 発生量の削減を行う。
5. **水資源の有効利用**：雨水及び社内発生水の処理工程への再利用を図り、水資源の節約、適正使用を実行する。

2026 年 7 月 1 日

⊗ 光和精鉱株式会社

代表取締役社長 笹川 真司